

平成30年度外部評価の実施手順

1 担当課による事業概要説明（グループ①：15分・グループ②：5分）

担当課が事業峻別シートに基づき、事業の概要、課題、実施状況、自らが行った自己評価の結果について説明します。

2 質疑応答・議論（グループ①30分・グループ②：25分）

委員が担当課に補足説明を求め、評価する上で必要と思われる事柄を質問します。必要により、市長評価について事務局に質問するほか、委員間での議論も行います。

3 評価の実施（15分）

担当課が退席後、委員が評価結果を外部評価シートに記入します。評価は、A：継続、B：一部見直し、C：休止、D：廃止から1つ選択します。

評価は、必ず評価の理由を記載するほか、御意見、改善方法の提案等もあれば、記載します。

■評価区分

A：継続	事業の内容に問題はなく、維持していくもの
B：一部見直し	事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの。
C：休止	事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの
D：廃止	事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの

4 会議総括（30分）

全ての評価が終了した後、とりまとめ結果を事務局が発表するとともに、結果に対し、内容確認します。